

各教育事務所の調査結果

阿蘇教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析**
- 2 質問紙調査結果と分析**
- 3 今後の取組**

1 (1) 小学校の成果と課題

1 成果

○「C 読むこと」に関して、二つの詩の内容や表現の仕方に着目し、共通点、相違点を取り上げ、条件に合わせて自分の考えを書くことは良好である。

*【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く設問

【国語 B3三】

○「C 図形」領域において、辺、面やそれらの位置関係に着目し、立体図形の頂点、辺、面のつながりや位置関係の理解に改善の状況が見られる。

*縦5cm、横11cm、高さ4cmの直方体の面②になる四角形を選ぶ設問

【算数 A7】

2 課題

○日常でよく使用される故事成語の意味を正確に理解し、その使い方をとらえるなど、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題がある。

*故事成語の意味と使い方を理解する設問

【国語 A2一二】

○「B 量と測定」において、生活の中の情報をもとに、条件に合う必要な時間を求めることに課題がある。

*昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く設問

【算数 B3(1)】

1 (2) 中学校の成果と課題

1 成果

- 話の展開，登場人物の人物像や心情の変化などをもとに場面を想像し，根拠を明確にして自分の考えを書くことについて改善の状況が見られる。
 - * 落語の演じ方を選択し，なぜそのように演じるのかを，本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く問題
【国語 B3三】
- 資料の活用領域の内容のうち，度数分布表から相対度数を求めたり，ヒストグラムの中央値の意味の理解において改善の状況が見られる。
 - * 生徒60人の通学時間の分布を表した度数分布表から，ある階級の相対度数を求める設問
【数学 A13(1)】

2 課題

- 文脈に即して，漢字を正しく書く力など，基礎的・基本的事項の定着に課題がある。
 - * 漢字（地域の人をショウタイする）（円のハンケイを求める）を書く設問
【国語 A8 1・2】
- 「B 図形」領域における，底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係についての理解に課題がある。
 - * 円柱と円錐の体積を比較し，正しい図を選ぶ設問
【数学 A5(4)】

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な18項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
等 関心	1. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	64.2	65.0	63.8	56.5	56.3	54.8
(言語活動・学習状況) 学習状況	2. 友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか	48.8	49.1	49.5	46.2	44.3	48.6
	3. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	88.3	87.9	84.9	90.0	81.6	75.3
	4. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	85.2	86.9	82.0	95.2	81.5	71.5
	5. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	75.7	73.8	71.9	73.7	55.6	53.3
	6. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)※1時間以上の合計	64.4	65.0	55.9	85.6	75.2	67.4
学習時間等	7. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	53.8	59.4	61.0	52.1	43.4	46.6
	8. 家で、学校の授業の予習をしていますか	31.9	41.9	43.2	30.6	30.5	34.2
	9. 家で、学校の授業の復習をしていますか	57.1	60.7	54.0	50.8	53.8	50.4

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な18項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
生 学 活 校	10.先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.4	82.5	79.7	84.0	77.8	74.1
習 生 慣 活	11.普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(2時間より少ない)	94.6	93.6	91.3	74.6	73.3	67.0
家 庭	12.家の人(兄弟姉妹は除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	97.0	96.7	96.5	91.7	88.4	83.1
地 域	13.今住んでいる地域の行事に参加していますか	78.5	74.8	68.0	55.0	40.4	43.5
社 会	14.テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	83.9	83.9	84.7	84.2	81.5	82.1
将 来	15.将来の夢や目標を持っていますか	85.5	87.6	86.7	72.7	71.4	71.4
自 尊 意 識	16.ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	95.0	94.0	94.4	95.2	93.6	93.9
	17.難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	74.0	74.4	75.1	64.8	63.7	68.0
意 規 識 範	18.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7	97.1	96.4	96.3	94.6	93.4

2 (2) 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な10項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
向上力	1.調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	69.6	47.6	61.1	66.7	61.6	79.8
方指 法導	2.調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあてねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか	95.7	98.3	96.9	100.0	99.4	94.0
ピコ yun	3.調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、算数・数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか	60.9	57.6	40.8	66.7	37.8	21.4
調査 の結 果果 用	4.平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	95.7	95.1	93.6	91.7	93.0	90.4
	5.平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	73.9	78.6	81.1	91.7	69.2	75.6
指個 導	6.調査対象学年の児童(生徒)に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	26.1	33.8	29.0	58.3	35.5	22.7
国語	7.調査対象学年の児童(生徒)に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	100.0	97.8	97.8	100.0	97.1	98.3
学家 習庭	8.調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数・数学共通)	95.7	83.0	85.4	75.0	73.3	76.9
研職 修員	9.模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100.0	96.4	94.9	100.0	89.5	86.7
	10.授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか(13回以上)	47.8	43.7	30.1	33.3	25.0	15.4

2 (3) 質問紙調査に関する分析

- すべての小中学校で、一斉読書の時間が設けられている。
- すべての小中学校で学校で模擬授業や事例研究など、実践的研修が実施されている。
- 【小】学習の振り返り行われているが、「授業のはじめに目標が示されている」という児童が少なく、指導者の意識とのずれが見られる。
- 【小】「計画的な家庭学習」「授業の予習」項目について、県・全国平均を下回っている。
- 【小】「基礎的・基本的事項の定着」に関して、学校質問紙の回答状況と児童の設問別調査結果とに大きなずれがある。
- 【中】「家庭での復習」の項目以外で、県平均を上回っている。学力との相関が見られる。
- 【中】「情報通信技術を活用した授業の実施」「少人数指導の実施」について、県・全国平均を大きく上回っている。

3 今後の取組

- 「肥後っ子輝きナビ」による課題分析と、全国学力・学習状況調査過去問題集の活用を徹底する。
- 課題となる設問に焦点を当て、問題分析や誤答傾向などから、授業改善の見出し、学校全体で共有することを徹底する。
- 管内の課題に対応するよう「授業改善に向けたQ&A」（阿蘇教育事務所版）の改訂を図る。
- 市町村教育委員会と連携し、学校課題に応じた改善対策を明確にするための指導主事派遣を行う。
- 学校訪問の際、以下の点を重点的に指導する。
 - ・ 授業の導入時の、課題やめあてを児童生徒が把握しているか。
 - ・ 「本時の目標」－「指導（学習活動）」－「評価」の一体化
 - ・ 基礎的・基本的事項の明確化と確実な定着をもとに、その活用を図る授業展開が行われているか。
 - ・ 学力充実の時間（補充学習）が効果的に行われているか。